

研修レポート（9月）

Septiembre de2016

平野 夏美

自己紹介

この度、広島県の推薦枠より第44期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修に参加させていただきました、平野夏美です。県立広島大学人間文化学部国際文化学科に在学しており、諸外国で起こる様々な問題や多文化共生について勉強しています。大学とスペイン語は関係ありませんが、母親が日系アルゼンチン人ということもあり、幼いころからスペイン語に触れて育ちました。本格的にスペイン語の学習を始めたのは約一年前で、母親の母国であるアルゼンチンに5か月ほど語学留学をしていました。そして今回の研修に参加させていただける機会をいただき、自分のスペイン語に磨きをかけようと励む毎日を送っています。また、人と話すことが好きなので、言語を学ぶことで国境を越えて人との輪が広がるということに喜びを感じています。

さて、研修開始から1か月が経ちました。メキシコという初めての地で慣れないことや戸惑うことも多々ありますが、毎日様々な刺激を受けながら充実した日々を送っています。楽しかったこと、困ったこと、そのひとつひとつの出来事が未熟な自分にとって大きな糧となると信じて一年間過ごしたいと思っています。



【メキシコ国立自治大学】中央図書館の壁画は世界遺産。

メキシコでの生活

メキシコで1か月を過ごした気付きなどを報告します。まず気候についてですが、8月21日に到着した時点では、夏の終わりといった感じで比較的涼しく、日本よりも湿度が低いため大変過ごしやすかったです。9月下旬からは日ごとに気温が下がり、朝晩は薄手のコートが必要になるくらいですが日中は日差しが強く、少し歩くと汗ばむほどです。半袖の上にコートやカーディガンを羽織るといった服装で調節できるように工夫をしています。住居は比較的治安の良い地区にあり、学校までバスで20分ほどです。食べ物については、チリを使用したスパイシーなものが多く、最初の一週間でお腹の痛みや体調不良を訴える人が何人かいました。路上で販売されているタコスなどの食べ物は安価ですが、人によってはお腹を壊してしまう場合もあります。生野菜、生の海産物はできる限り避けた食生活を心掛けており、幸い今のところ食べ物に当たったことはあ

りません。最後に一番心配していた治安についてですが、研修の始めに治安対策についての説明などが行われ、一人で行ってはいけない地区や犯罪に遭いやすい公共交通機関などを教えてもらいました。遅い時間はできるだけ一人で歩かないようにし、メトロ(地下鉄)を利用する際は女性専用車両に乗るようにしています。アジア人は普通にしているでも目立ってしまい、お金を持っているというイメージがあるそうなのでできるだけ目立たない服装を心掛けるようにしています。今のところ同じ研修生の中で強盗などの被害に遭った人はいませんが、気を緩ませることなく引き続き注意しながら生活したいと思います。



【伝統料理・タコス】肉などの具材にお好みでサボテンや野菜、ソースをかける。

CEPE について

私が通っている学校はメキシコ国立自治大学に付属している外国人向け語学学校である「CEPE」です。中国や韓国、日本といったアジア系の学生が比較的多いように思えますが、もちろんヨーロッパ系の生徒も在籍しています。最初に面接による試験でだいたいの実力を判断され、その後のペーパーテストでクラスのレベルが決まります。レベルは全部で9段階あり(Basico0~4、Intermedio1~3、Superior)、私はBasico4に在籍しています。私のスペイン語のクラスの授業は毎日9時から12時までで、クラスはレベルによりますがだいたい10人前後で構成されています。文法の学習を中心として行われ、会話の練習なども行われますが積極的に発言していくことが求められます。午後からはメキシコの文化やサルサダンスなどを学ぶ授業を選択することができます。私はサルサダンスの授業を取っていますが週3回2時間あるのでかなりハードです。学期末には発表会もあり、本格的にサルサダンスを身に着けることができます。スペイン語だけではなくメキシコの文化も同時に学習することができるので、毎日様々な国籍の友人たちと充実した日々を送っています。